

第 123 回 生物科学フロンティアセミナー
第 43 回 ケミカルバイオロジー研究所セミナー

「夾雑環境下における細胞外小胞の高感度検出を
目指した曲率認識ペプチドの創製研究」

河野 健一 先生

京都大学大学院薬学研究科
薬品機能解析学分野 助教



日時：令和 4 年 10 月 18 日（火）午後 4 時 30 分より
場所： なかもずキャンパス A12 棟サイエンスホール
（事前参加申し込みは不要です。会場まで直接お越しください。）

細胞外小胞はあらゆる細胞から産生される直径 30–200 nm 程度の脂質ナノ粒子であり、細胞間コミュニケーションで重要な役割を果たしている。細胞外小胞はヒトの病気や細菌の病原性に関連している為、病気の診断やワクチンへの応用などバイオテクノロジー面で幅広く活用されていると同時に、新たな機能応用が求めている。この課題に対して、私たちは細胞外小胞に特異的に結合する曲率認識ペプチドの性質に着目して、曲率認識ペプチドを基軸とした細胞外小胞の応用研究を行っている。これまでにマーカータンパク質に依存しない細胞外小胞の新たな検出法の開発に成功し、現在は細胞外小胞の効率的な回収法の開発に向けて新たな曲率認識ペプチドの設計に取り組んでいる。本講演では、これら最近の研究成果について紹介すると共に、将来的な展望についても議論したい。

世話人・連絡先 中瀬 生彦（大阪公立大学 大学院理学研究科 生物化学専攻）
大阪公立大学 研究推進機構 ケミカルバイオロジー研究所
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
TEL/FAX: 072-254-9895
E-mail: i-nakase@omu.ac.jp

